

第4回策定委員会議 質疑応答と追加意見のまとめ

【基本構想(案)・第2章】

No	発言者	質問・意見	回答・今後の対応
1	五藤	第1節3.地球温暖化問題の深刻化 追加した3つの取組が本当に代表的なものなのか確認いただきたい。	温室効果ガスの排出を抑制する取り組みとしては、妥当な例示であり、前後の文脈からも問題はない。
2	澤木	第1節3 タイトルは「地球温暖化問題の深刻化」であるが、文末は「環境に負荷をかけない暮らし」と「『都市生活と自然が共生する』社会」に収斂しており、CO ₂ の排出削減あるいは低炭素化などに言及されていないので、課題認識が抽象的であり、弱い印象を受ける。	(追加意見) ご指摘どおり修正した。
3	澤木	第1節4 高齢化の進展に対して、「高齢者がいきいきと活躍できるまちづくり」はよいが、「新しい魅力づくり」が高齢化に対してなぜ必要なのか、文脈ではわからない。「新しい魅力づくり」が少子化も受けているのならば、独立した文章とし、具体のイメージを付加しつつ述べるべき。	(追加意見) ご指摘どおり修正した。
4	澤木	第2節6行目 第3章の将来都市構想の中で出てくる「箕面のあした」という標語が突然出てくるが、前から読んでいくとわかりにくく、また、第3章第1節の最後の段落が、第2章第2節の自助・共助・公助の文章と重複するので、順番を整理した方がよい。	第2章第2節では「箕面のあした」という言葉を外した。第3章第1節の最後の段落は将来都市像の「～みんなで作る「箕面のあした」～」の部分の説明なので、自助・共助・公助の考え方と重なるのは避けられないが、言葉の重複は避けて修正した。
5	澤木	第2節「箕面のあした」が説明無く出現する件、委員会で述べたとおり。この部分は市民提案書を取り入れているが、構想の流れ全体の中でどこに置くか、このようなボリュームが必要か、図の表現方法は適切か、検討が必要であると思う。現在のものは、市民提案書の経緯とその内容を知らない者が見た場合、全体の流れの中で少し違和感を感じる。「箕面のあした」に言及するのならば、将来構想の後にもっと簡素化して入れる、「まちづくりの基本となる考え方」重視ならば「箕面のあした」という表現はここでは使わずその「考え方」をわかりやすくしっかり伝える。	(追加意見) のように、ここでは「箕面のあした」という言葉は使わず、まちづくりの基本となる考え方を述べる。 分野別の部分の前に置くことで、基本構想全体を貫く考え方を示しているが、ボリュームや図の表現方法についてはご議論いただきたい。

【基本構想(案)・第3章】

No	発言者	質問・意見	回答・今後の対応
6	五藤	第2節 将来人口 新市街地の人口推計は客観的なデータ、調査によって行う必要がある。	平成20年3月時点の客観的データ・調査に基づいているが、今後修正も検討したい。
7	澤木	第2節7行目「小中一貫校など子育て環境の整備充実」とあるが、小中一貫校は子育て環境というより教育環境であろう。また小中一貫であることは充実につながるのか、小中一貫校と表現するだけでは伝わらない。人口という大きな項目を扱っている中で、これだけの特出しして例示するほど、人口を吸引する魅力を訴えられるものなのかどうか？	(追加意見) ご指摘どおり修正した。
8	澤木	第2節下から4行目 箕面新町は箕面森町の誤り	(追加意見) ご指摘どおり訂正した。
9	澤木	第2節下から3行目 この文章は主語がなく、文章自体も整っていない。「・・・動向により、人口・・・」といった形に修正したらどうか。	(追加意見) ご指摘どおり修正した。

【基本構想(案)・第4章】

No	発言者	質問・意見	回答・今後の対応
10	五藤	第2章では市民こそがまちづくりの主体という精神をうたっているにもかかわらず、行政ができる範囲での施策を羅列しているにすぎず、これを読んだ市民は10年後にどんなまちになっているのか、今とどう変わるのか具体的にイメージできない。	10年後のまちのイメージとしては、第4章第1節以下の「目標達成のための基本方向」が実現しているまちの姿であると考えている。行政の施策ばかりであるという点については、基本計画を作成していく中で、基本方針との整合性を含めて再検討していく。

【基本構想(案)・第5章】

No	発言者	質問・意見	回答・今後の対応
11	五藤	第1節 参加と参画の使い分けについては、参加と参画は全く意味が違うので、それを一緒にするのがいいのかどうか、みなさんで議論していただきたい。	大きく参加と捉えるという考え方は前回説明したとおりであるので、ご意見にあるとおり、策定委員会議でご議論いただき、一定の結論を導き出すことが望ましいと考える。
12	五藤	第1節3～5行目 厳しい財政状況のため市が対応していくことが困難な課題として防犯、防災、介護、子育て、ごみの分別・リサイクルの5つを挙げているが、この5つがその代表になるのかどうか。ごみの問題と子育てあるいは防災の問題が同列なのか疑問に思う。	例示した課題が、市の代表的な課題かどうかは、ときどきの状況によっても変化しうることから、個別課題を例示せずに、「すべての行政課題に対応が困難」である旨を説明する文章に変更した。
13	五藤	第2節 相変わらず戦略という言葉が出てこない。	(会長) 行政文書に戦いという言葉が多用することがいかなものかという意見も聞いている。積極性が示せていいという意見はもっともだと思うが、留保したい。 戦争を想起させる言葉に抵抗感を持つ市民のかたもいるのではないかという懸念があるが、戦略という言葉を用いるかどうかは策定委員会議で結論を出していただきたい。
14	五藤	第2節 市民を巻き込む形で地域経営を推進することを明確に書き込むべき。市民は行政と対話の機会や幅広い市民参加を求めているので、そのような仕掛けを進めるべき。市民が主体的にまちづくりに参加するための仕組みやルールを市民合意のもとに確立するということを書き込む必要がある。	「多様な市民の意見を市政に反映し、市民が主体的にかかわれる仕組みづくりを進め」ことを追記した。
15	五藤	第2節 議会の問題を総合計画に入れるかどうかについて、協働という場合に議会も入るので、もっと開かれた議会になるという目標を書き込んだ方がいい。	議会については第2回でも議論があったが保留になっている。再度策定委員会議でご議論いただくか、総合計画審議会では市議会議員が委員として入るので、審議会での議論に委ねるのも一つの考え方である。

目標1 安全・安心でみんながいきいき暮らすまち

【基本構想（案）】

No	発言者	質問・意見	回答・今後の対応
16	五藤	行政が制度をつくるだけでなく、市民自らが健康や安心に立ち向かう仕組みや仕掛けが必要という意見を出したが、反映されておらず、内容が非常に貧弱。	「健康増進計画(健康みのお21)」において規定する、市民が運動習慣の習得とそれを支援する行政の取組を引き続き実施する。
17	五藤	身体健康だけでなく、心の健康も含めた対応を書き込んでいく必要がある。	ご指摘を踏まえて一部修正する。(未修正)
18	五藤	防犯や暮らしの安全ということについて十分に言及されていない。犯罪については警察の関係になるが、暮らしの安全、特に子どもや高齢者、障害者のような弱者に対する犯罪を減らす施策が必要。	左記意見を受けて、地域防犯活動の支援を盛り込んだ。
19	五藤	刑事犯罪を減らすことは警察の課題だが、市民が防犯、防災活動をするために、行政がどういうバックアップをしていくかを書けばよい。たとえ所管が警察であっても、市民の防犯活動、防災活動については、ここで計画を立てて進めていくべきだと思う。	左記意見を受けて、地域防犯活動の支援を盛り込んだ。
20	五藤	消防行政の推進については、市民が何をするのか、市民に分かりやすい言葉で書く必要がある。	左記内容については基本計画により、箇条書きでわかりやすく記述している。
21	五藤	消費生活センターにおける専門相談員による相談業務は既にやっているのだから、それをどう変えるのか、あるいは消費の安全や食の安全というのは、安全・安心のまちづくりに入れる方がいいのか、基本的な方向を示せばいいと思う。	専門相談員による相談業務は、詳細な事業内容であるため削除し、ご指摘を踏まえて消費や食の安全に係る基本的な方向性を示す内容に修正した。
22	澤木	第1節9行目「社会資源」とは何を指すのか例示がないとわかりにくい。同様にその「ネットワーク」もイメージしにくい。この文章は抽象的すぎる。	(追加意見) ご指摘を踏まえて例示を追加した。

【基本計画（案）】

No	発言者	質問・意見	回答・今後の対応
23	澤木	基本構想の目標達成のための基本方向には「かかりつけ医」と特出ししているが、1-(1)の政策の方向には出てこない。	(井上)基本構想では、病診連携の一つのあり方を示していると思うので、基本構想を受けて、基本計画で位置づけることも考え、十分調整する。

No	発言者	質問・意見	回答・今後の対応
24	五藤	1-(1) 身体健康だけに限定されているが、精神健康、心の健康も意識したものにしていけるべき。	ご指摘を踏まえて一部修正する。(未修正)
25	澤木	1-(1) 1.下から3行目「・・・提供を推進していきます」とあるが、これは現状と課題なのか？	(追加意見) ご指摘を踏まえて次のとおり改めた。「～総合的な健康づくりへの取組や情報提供のさらなる充実が課題となっています。」
26	高山	1-(1) 1.最下行「地域医療システムの再構築が求められています。」とあるが、例えばホームドクター、開業医と総合病院の情報システムの問題、地域における開業医の緊急時の態勢などの具体策など、簡単に一言ですませるような問題ではない。	分野別検討会議で検討する。
27	五藤	1-(1) 2.(1)2 目 市立病院はまず存続することが大事なので、経営改革ということも政策の大事な方向ではないか。	
28	澤木	1-(2) 2.(1)2 目 「地域の社会資源」とあるが、何をさすのか解説必要。	(追加意見) ご指摘を踏まえて例示を追加した。
29	五藤	1-(3) 交通安全や暮らしの安全・安心に触れていない。施策として「災害に強いまちづくりを進めます」とあるが、5年後のまちの姿が市民に分かるような書き方に必要がある。成果指標は、交通事故や刑事犯罪の発生件数や火災報知器の設置率など、市民が身近に感じ、しかも比較的数据が明快に出る指標を中心に入れた方がよい。	交通安全施策、地域防犯活動の支援を盛り込んだ。また、成果指標に犯罪発生件数を入れた。 まちの姿については、構想に入れるか計画に入れるかが明確になった時点で検討する。
30	五藤	1-(3) 防災対策に女性の視点を入れることも大事だと思う。安全のところでは、消費者被害、食の安全なども計画段階では踏み込んでおいた方がいいと思う。	地域防災計画の中で反映させる。
31	高山	1-(3) 1.5 行目「自主防災組織の結成を促進しています。」とあるが、これまでのやり方の反省すべき点を課題として認識し、これからの10年のやり方を市民と共有できるように文章の工夫、内容の掘り下げをしてほしい。	自主防災組織の現状とその必要性を盛り込んだ。
32	澤木	1-(3) 1.6 行目「パーセントの状況から、さらに」を「パーセントの状況であり、さらに」としないと文章的におかしい。	(追加意見) 修正した。

No	発言者	質問・意見	回答・今後の対応
33	高山	1-(4) 働くことと消費生活の安心が入っているが、現実的に再構成した方がよいのではないか。	人は労働の対価として賃金を得て、そのお金で消費生活を送っており、両者が健全に行えることが豊かな暮らしの基礎であると考え、同じ政策の中に位置づけている。

目標2 子どもたちの夢が育つまち

【基本構想（案）】

No	発言者	質問・意見	回答・今後の対応
34	五藤	子どものために大人が何をするかということばかりが出ているが、子どもが主役になる、あるいは子どもの目線で考えるような仕組み、子どもの権利を守るような仕組みも必要。教育委員からも意見を求めて練り上げていく必要がある。	分野別策定検討会議で検討する。
35	澤木	第2節(2)2つ目「コミュニティを活性化」することがどうして「子育ての支援」になるのかがつかめない。「・・・活性化を促進しつつ子育てを支援し・・・」とすればどうか。	(追加意見) 基本計画の政策・施策体系に合わせて基本方向を修正した。

【基本計画（案）】

No	発言者	質問・意見	回答・今後の対応
36	澤木	2-(4) 1.6 行目「『ニート』などの不安定な生活」者の解消には「生涯学習の役割が重要」なのか？「職業訓練」や「就労のための技術教育」などではないのか？	(追加意見) 就労の課題については職業訓練等が必要な場合が多いが、そのような直接的な訓練、教育のみならず、生涯学習としても、青年層のコミュニケーション能力や人生観などを含めて「生きる力」を培う学習機会の保障や、個人責任にされがちな青年層の課題についての社会理解に関する学習機会の提供などが必要と考えて、幅広い表現をとっている。

目標3 環境共生さきがけのまち

【基本構想（案）】

No	発言者	質問・意見	回答・今後の対応
37	五藤	「さきがけ」という言葉は、他の自治体と比べて箕面は進んでいて、他の自治体の手本になるまちだということを意味しているが、どこが「さきがけ」なのか、この内容からは分からない。	今後2年間で、「第2次箕面市快適環境づくり計画」を策定するべく検討を進めており、左記の意見をふまえて検討していく。
38	片平	他市と差別化するために、箕面が環境に対して何ができるのか、キャッチフレーズや具体的なことを書き込んだ方がよい。	
39	五藤	上記について、澤木副会長にご指導いただいて、もう少し検討した方がよい。	策定委員会における澤木副会長の意見を受けて、修正した。
40	五藤	雨水の活用についても、市民が何をするのか、市民にわかりやすく書くことが大事だと思う。	
41	五藤	北大阪急行の延伸を採り上げるなら、特に財政面の問題、実現の困難性を十分認識できるような表現にする必要がある。	基本構想リード文の中に記載している。基本計画の中にも意見の主旨を踏まえて記載した。
42	澤木	第3節(2)1つ目「緑を守ること」＝「環境共生型のまちづくり」と矮小化してとらえられる。「環境共生型まちづくり」の内容に踏み込んでいないので抽象的でわからない。	(追加意見) みどりを守り活かすことがみどりの都市景観の形成にもつながることを追記した。
43	澤木	第3節(2)2つ目「健全な水循環」とはどんなものか、なぜ健全なのか、なぜ再生が必要なのかがわからない。	(追加意見) 雨水の活用や地中への浸透を推進し、潤いのあるまちづくりや上水道の安定供給、下水道の適切な排水など、全ての水に関する取り組みを「健全な水循環再生」と表現している。 「健全」は、雨水の地下浸透などを利用した自然環境に近い水循環、或いは上下水道事業の計画的運営を図ることを表現している。 「再生」は、「健全な水循環」により都市部での水と緑豊かな環境の保全を図ることを表現している。

【基本計画（案）】

No	発言者	質問・意見	回答・今後の対応
44	高山	3-(1) 1. 前半の一般的なことは不要。ここ10年で箕面市はどうなって、今後は何に重点を置くべきかを、総論ではなく具体的に書けばよい。現状と課題は、市民と課題を共有することを重点に書く必要がある。	一般的な内容は削除し、箕面市の現状と課題について追記した。温暖化対策の具体的な重点となる取組については、今後2年間で策定する「第2次箕面市快適環境づくり計画」の検討のなかで議論していく。
45	澤木	3-(1) 1.5 行目 「依然として多くのごみが焼却され、地球温暖化を招く温室効果ガスを多量に排出」は、CO ₂ 排出源をゴミ焼却だけに起因しているとの誤解を招く文章表現である。	(追加意見) 「地球温暖化を招く温室効果ガスを多量に排出させ」については削除した。
46	澤木	3-(2) 1.7 行目 「後継者附則」は「後継者不足」の誤り。	(追加意見) 修正した。
47	澤木	3-(2) 1.10 行目 「育成される」 「育成される」	(追加意見) 修正した。
48	澤木	3-(2) 2.(1)下から6行目 「自然空調」は適切な表現でない。空調(空気調和)は建物に関する概念で「まち」には用いない。	(追加意見) 「建物内の自然空調」とした。
49	澤木	3-(3) 1.4～5 行目 「都心枝の」 「都心への」	(追加意見) 修正した。

目標4 「箕面らしさ」を活かすまち

【基本構想（案）】

No	発言者	質問・意見	回答・今後の対応
50	五藤	歴史的な史料や資産をきちんと残しておくことも織り込むとよい。	「歴史や伝統を後世に伝えていくため」の施策として、基本計画で言及した。
51	澤木	第4節6行目「まちづくりを創造し」は「まちを創造し」とすべき。「『箕面らしさ』としてこれを」も「これを『箕面らしさ』として」とする方が文章がよい。	(追加意見) ご指摘のとおり修正した。
52	澤木	第4節14行目「『落ち着いて暮らせるまち』としての充実」とあるが、何をどのように充実するのが見えない。	(追加意見)
53	澤木	第4節15行目「市内各地には豊かな歴史」は文章からすれば「市内各地の豊かな歴史」とすべき。	(追加意見) ご指摘のとおり修正した。
54	澤木	第4節下から9行目「地域資源の価値を再発見」とあるが、「地域資源を再発見」または「地域資源の価値を再評価」という表現が望ましいのではないか。	(追加意見) 「地域資源の価値を再評価」に修正した。
55	澤木	第4節下から5行目「地産地消の土壌づくり」とあるが、本当の土づくりをイメージしてしまうので、「地産地消の基礎づくり」「地産地消の素地づくり」などではどうか。	(追加意見) 「地産地消の基礎づくり」に修正した。
56	澤木	第4節(3)1つ目の「住環境」と2つ目の「生活環境」はかなり重なる概念。(3)として2つの柱を立てるならば、それぞれを差別化すべき。	(追加意見) 2つ目の文章を変更した。
57	澤木	第4節(4)3つ目「地産・地消」は「地産地消」	(追加意見) 修正した。

【基本計画（案）】

No	発言者	質問・意見	回答・今後の対応
58	澤木	4-(3)1.下から6行目「建設様式」「建築様式」	(追加意見) 修正した。
59	澤木	4-(3)1.下から4行目「本市の地域性にそぐわない」とある「本市の地域性」とはこの場合何をさすのか？示さないとわからない。	(追加意見) 「本市の地域性である北摂山系の山なみ景観を背景とした緑豊かなまちなみ景観にそぐわない」と修正した。

No	発言者	質問・意見	回答・今後の対応
60	澤木	4-(3) 3.【自治会やNPOなど】の1行目「タウンウォッチング」と5行目の「まち歩き」は同じこと。	(追加意見) 1つ目と4つ目の項目は内容が重複するため、4つ目の項目(「まち歩き」)を削除した。
61	片平	4-(4) 観光は箕面が持っている強みだが、活かせていない現状がある。市民会議の提言書にあった観光特区などについてはどういう考えか。	「国立・国定公園における自然を活用した催しの容易化事業」に対する観光特区については、本市滝道を中心とした区域は府営箕面公園の区域でもあり、各種催しの開催に伴う申請については都市公園法により大阪府池田土木事務所長の許可となっており、事務手続き等についても大きな負担とはならないことから、現時点では考えていない。 健康保険組合所有の保養所の民間団体等への賃貸借については、全国対応項目として認められた「保養所の用途廃止後から売却までの賃貸の可能化」の活用があるが、本市においては該当保養所がない状況である。
62	阿部	4-(4) 箕面の山をいかに観光資源として使っていくか、既存市街地の活性化も併せて、総体としてにぎわいのあるまちを考えていただきたい。	観光や商業等に関連するため、「基本方針」に記述した。 「・滝道を訪れる多くの観光客をまちなかに誘導し、回遊性を高めることにより、観光や商業等の両面からまちの活性化・賑わいを創出します。」

目標5 誰もが公共を担い、みんなでつくるまち

【基本構想(案)】

No	発言者	質問・意見	回答・今後の対応
63	五藤	小学校区程度の地域を単位として、多様な主体が参画し、地域課題を集約し解決していく仕組みを市民とともに構築するとしながら、目標達成のための基本方向では、自治会活動をより一層活性化し、となっていて、小学校単位ということが出てこない。加入者が少なく規模にもばらつきがある自治会を超えた新しいコミュニティとして、基本方向の中にも盛り込む必要がある。	目標達成のための基本方向(1)の2項目目を下記のとおり修正した。 「小学校区程度の地域を単位として、地域の課題は地域コミュニティの各団体が協力して解決していく仕組みを市民とともに構築します。」
64	五藤	基本方向の語尾が「していきます」と「します」ではどう違うのか、よく分からないが、統一した方がよい。	「します」に統一した。
65	澤木	第5節5~6行目「地域コミュニティを高める」という表現は適切か。「地域コミュニティを活性化する」ことか？	(追加意見)「地域コミュニティを活性化させる」に修正した。

【基本計画(案)全体】

No	発言者	質問・意見	回答・今後の対応
66	五藤	基本構想の第5章「基本構想実現のために」は大事なところだと思うが、基本計画には入っていないので、4章よりも前に入れるべき。	<p>(阿部)自治基本条例など具体的な条例名をあげるのは難しいかもしれないが、計画の進捗状況を行政だけが評価するのではなく、市民参画のもとで、計画がどれだけ実現可能かを検証する仕組みは早めに設置しないと機能しないので、何らかの形で書き込むことを考える必要がある。情報提供の仕組みの充実など、基本構想の内容を具体化した、とりわけ早期に実現していくべきこととして何か書き込めることがあれば、前期の基本計画に書き込んでいくという方向で検討していきたい。</p> <p>第5章は大きな考え方なので、それを踏まえて基本計画を作成している。具体的な取組については、分野別計画の5-(2)、5-(3)で触れる。</p>
67	片平	人口推計も数字として出すのが難しい中で、政策ごとに5年間の総事業費を出すのはとても難しいのではないかと。実務として本当に出来るのか、この数字を出してしまっても大丈夫なのかという意味で、人口推計の数字を取り扱うよりもこちらの数字のほうが難しいのではないかと。	<p>(阿部)計画の内容が具体的であればあるほど、検証可能性が高まるが、予算面での裏付けを持つという側面で計画を具体的なものにするのは考え直す必要がある。</p>
68	五藤	財政的な裏付けもなく施策をたくさん並べて結局実現できないということでは何にもならないので、最終的に総合計画の中に数字を入れるのか、あるいは別途5年間の予算の概略としてまとめるかは別として、金額も意識しながら作業を進めるべき。	<p>(阿部)財政推計が出た段階で、リスクが大きすぎるなら見送ると、両含みで事務局あるいは分野別策定検討会議でも検討いただきたい。</p> <p>検討していく。</p>
69	澤木	基本計画と関連計画との関係をどう考えているのか。	<p>(阿部)基本計画の中では、関連計画にも触れていって、整合性を確保していくという配慮をしていただきたい。</p> <p>方向性の整合は取っていく。</p>

【基本計画(案)・第2章】

No	発言者	質問・意見	回答・今後の対応
70	五藤	第1節 人口推計は、今後5年間についてはもう少しきちんと調査をして、実現性の高い人口推計をすると捉えていたが、そのような見直しをしてこの推計なのか。	(阿部) 人口推計は引き続き、どういう推計で行っていくかを課題にしておきたい。 第3回会議では、5年経った後、今の動向を踏まえながら人口推計を見直すという説明をさせていただいた(会議録 P.6 参照)。 人口推計は平成20年3月時点の客観的データ・調査に基づいているが、今後修正も検討したい。

【基本計画(案)・第4章】

No	発言者	質問・意見	回答・今後の対応
71	澤木	構成の仕方について、「2. 各主体の主な役割」と「3. 政策の方向」を入れ替えて、現状と課題があって、それを解決するための政策の方向性が示されて、それについて各主体がどういう役割を担っていくのか、そして成果指標の主役度と対応していくという流れの方が分かりやすい。現状と課題のすぐ後に各主体の役割を書くと、政策が市の政策なのかみんなの政策なのかよく分からなくなる。	(事務局) 構成については再検討したい。 ご意見どおり「2. 各主体の主な役割」と「3. 政策の方向」を入れ替える。
72	五藤	構成は上記と同意見。今回は見開き2ページになっているが、ページ数にこだわらず書き込んでいった方がよい。	(阿部) どれくらい書き込めるのか、もう少し考えていくことにしたい。 見開き2ページにこだわってはいないが、目標全体でのバランスは必要なので、調整していく。
73	五藤	「2. 各主体の主な役割」に「自治会やNPOなど」とあるが、基本構想で小学校区単位の新しいコミュニティということが出ているので、ここに自治会と出すのがいいのかどうか。	基本構想では「多様な主体が参画し、小学校区程度の地域を単位とする仕組みを構築する」としており、その中でも自治会の存在は大きいものと考えている。

No	発言者	質問・意見	回答・今後の対応
74	澤木	「3.政策の方向」の中の(1)基本方針が、基本構想の目標達成のための基本方向の項目と整合がとれているかどうか。基本構想にある項目が、計画の中で出てこないのは取舍選択が行われているのか、前期計画での重点方針にするということなのか。	<p>(事務局)次回までに整理したい。</p> <p>(阿部)基本構想はかなり具体的な話に踏み込んでいるところがあるが、基本計画の場合、まず基本方針があって、基本方針をふまえた政策があって、政策の下に施策があるという階層的な構造になっていて、具体的なものは施策レベルになる。そういう体系性を踏まえて、基本方針はかなり抽象的に書いて、政策、施策という形で具体化していく書き方と、基本構想の書き方にずれが出ているが、分かりやすさを考えるとある程度ずれはあってもいいという気もする。</p> <p>基本構想の「目標達成のための基本方向」の項目は、基本計画の施策と対応しており、その施策全体の大きな方向性が「3.政策の方向」の(1)基本方針となる。</p>
75	澤木	「重点政策」の樹状図上での表記は、どれを指しているのかわからない。上にある最上位の施策そのものか、枝の部分の施策すべてか？図上の施策すべてを指すのであれば、解説には「政策のうち重点的に」とあるので重点でない政策はどこに示されているのかわからない。	<p>(追加意見)</p> <p>下線部は施策ではなく、政策である。目標ごとに3～4の政策が位置づけられていて、そのうち重点的に取り組むものだけに「重点政策」と表記する。</p>
76	五藤	「4.成果指標」の目標値の欄は何年とはっきり書いた方がよい。	「5年後」は「2015年」、「10年後」は「2020年」と表記する。

【基本計画(案)・第5章】

No	発言者	質問・意見	回答・今後の対応
77	澤木	第2節(1)5行目「大阪大学(外国語学部)」とあるが、このキャンパスにあるのは外国語学部だけでなく日本語日本文化教育センターなどがあり、同センターでは関西の各大学に入学する前の留学生の日本語教育を行っている。留学生が多いのは外国語学部よりもこちらのセンターによる。したがって「大阪大学(箕面キャンパス)」と表記いただきたい。	(追加意見) ご意見の通り修正した。
78	澤木	第2節(3)下から5行目「大阪大学(外国語学部)」とあるが、箕面キャンパスだけでなく、小野原地区には吹田キャンパスに通う学生(留学生も)が居住しており、この部分の表記は「大阪大学」とだけしていただく方が適切かと思う。また、学生が多くする小野原地区は、若者の活気もあるので、地域のコミュニティ活性化など、若者が多い地域特性を伸ばしていくような施策展開を望む。	(追加意見) 元の文章では、東部地域に大阪大学(箕面キャンパス)がある(存在する)という意味も含まれていたため、ご意見の意図を汲み「東部地域には、大阪大学に通う外国人留学生も…」と修正。